

令和 7 年度 第 1 回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	令和 7 年度 第 1 回安曇野市図書館協議会
2	日 時	令和 7 年度 7 月 3 日 午後 1 時 30 分から午後 3 時
3	会 場	安曇野市穂高交流学习センター 多目的交流ホール
4	出 席 者	河西委員、竹内委員、鈴木委員、杉本委員、西村委員、竹腰委員、塚原委員、宮下委員、藤松委員、巻山委員
5	市側出席者	洞教育部長、三澤文化課長、奈良澤図書館係長、宮澤中央図書館長、佐藤豊科図書館長、畠田三郷図書館長、太田堀金図書館長、徳原明科図書館長、中島副主幹
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1 人

○会議の概要

- 1 開会 （三澤文化課長）
- 2 あいさつ （洞教育部長）
- 3 自己紹介
- 4 協議事項 （議長：巻山会長）
 - (1) 令和 6 年度安曇野市図書館事業報告について
 - (2) 令和 7 年度安曇野市図書館概要について
 - (3) その他
- 5 その他
- 6 閉会

○4 の協議事項概要

議 長 「(1) 令和 6 年度安曇野市図書館事業報告について」を事務局よりお願いしたい。

事務局より資料 1、2 説明

議 長 資料 1、2 の説明が終わりました。ご意見ご質問のある方は挙手をお願いしたい。

委 員 利用者が減っている要因や対策等はあるか。また、ヤング世代へのサービスの具体例はあるか。

事務局 利用者減の要因の 1 つにはデジタル化があると考えている。また、色々な楽しみ方を広げている。図書館に来ていた人をまた引き寄せることが課題である。ヤング世代へは、ボードゲームや、上映会など今年は 4 回の講座を計画している。すぐに利用にはつながらないが、図書館に来るきっかけ作りとしては有効と考える。

委 員 高校の学校司書の中で言われているが、我々は公共図書館に生徒をつなぐ最後の役目を果たす人間であるという共通認識を持っている。学校司書として、生徒

を地域の図書館に円滑につないでいきたい。高校卒業のタイミングで公共図書館への登録に関してのアプローチをしていただきたい。3年生の冬などにチラシを配るのはどうか。

事務局 学校と公共図書館とつなぐことを考えていただけてありがたい。チラシ配布など、機会をいただければ用意したい。こうしてほしいという要望があればご提案いただきたい。

委員 ヤング世代だと、読書よりも学習室を利用目的にしている印象があるため、学習室近辺を充実させて、学習に関連する本や息抜きになる本をレイアウトしていくのはどうか。

委員 自身の経験を踏まえても、中高生の時は他のことに興味があり図書館で本を借りることは少なかったため、今の中高生の図書館利用を促進する方法を考えてもなかなか難しいのではないかな。そのため、利用する人が減っていくことを心配するのではなく図書館の魅力を考えていけば良いのではないかな。

委員 子どもの利用については小さいうちから本に親しんでいることが重要だと思う。ヤング世代になると本から離れる要因が増えていくので、そこを離れないよう考えていくのはどうか。大人については仕事の都合があるので開館時間を延ばすことで利用しやすくしたり、クーリングシェルトーとしての利用を呼びかけたりするのはどうか。

事務局 学生は学習目的での利用は多いが貸出数にはつながっていない状況がある。色々な媒体があるため、貸出数減から読書離れが起きていると一概に言うことはできないが、より図書館活用してほしい気持ちもある。

委員 安曇野、松本、塩尻の三市での連携を続けてほしい。安曇野市に無い本が他市にあり借りることが多いが、自分で取りに行くか相互貸借になってしまうため、三市同じように利用できると良い。

事務局 難しい課題である。機会があれば他の二市にも伝えたい。

議長 「(2) 令和7年度安曇野市図書館概要について」を事務局よりお願いしたい。
事務局より資料3を説明。

議長 ご意見ご質問のある方は挙手をお願いしたい。

委員 人口推移を掲載している理由、安曇野市の計画間の関連性を教えてほしい。

事務局 貸出数等の推移の参考のために人口推移を載せている。計画の関連性については安曇野市総合計画が上位計画としてあり、教育委員会としては教育振興基本計画のもと、枝分かれして下位計画がある。

議長 全体を通してご意見ご質問ある方はお願いしたい。

委員 館内整理日を金曜日から木曜日にしてほしい。

事務局 変更のためには条例改正が必要なためすぐに変更は難しい。ご意見としていただいておきたい。

委員 第2次安曇野市図書館基本計画の「(4) 図書館の利用に障がいのある方々の障がいの除去」は別の表現にした方が良いのではないか。

事務局 よく使われる表現であるが、次回の策定の際には検討したい。

委員 会計年度任用職員が大半を占めているが、正規職員の率を増やすことはできないか。また、概要からは、就園前の親子が図書館に通って本を読んでいることがわかる。こども園のほうでは就学前の読書経験の充実を図っているが、親が子どもを図書館に連れていくことにはつながらない状況がある。子どもが読書に親しみ、成長してから子ども自身で図書館を利用してもらえるようなつなぎ方を園としても大事にしていきたい。

事務局 雇用については図書館レベルでの変更は難しい。

図書館利用には家庭によって大きい差があるため、どのようにバックアップできるか検討し、子ども園のほうとも相談させていただきたい。

委員 資料のほうで郷土資料について取り上げていただけたことがありがたかった。各館で毎月企画展示があり、大変苦勞されていると思うが楽しませていただいている。

議長 協議事項は以上とします。続いて事務局から。

事務局 本年度の協議会の開催回数として、運営が安定していることから2回開催を提案させていただきたい。

議長 おおむね賛成ということで良いでしょうか。

事務局 賛成していただけたため今年は2回の開催とさせていただく。

議長 発言されていない方からひとことずついただきたい。

委員 初めて参加したが、安曇野市の図書館の活動がよく理解できた。

委員 協議会の皆さんの熱意を感じた。公共図書館のほうで就学前にされている流れを学校のほうでもうまく引き継ぎながらやっていきたい。

委員 豊かな文化的な生活のために図書館をどう活用するか考えていくことは大切だと思っている。昨年のリサイクルフェアが良い催しだと思ったので、図書館フェスタに注目している。

議長 館長の皆様からもひとことお願いしたい。

中央館長 現在市内10校の小中学校にデジとしょ信州のID発行ができていますが、全校と高校にも広げていきたい。ミライ部をはじめとしてヤング世代に図書館に親しむ経験をしてもらったり、高校生にスタッフ側に入ってもらうことなども考えながら実施していきたい。

豊科館長 委員の方々の意見が大変参考になった。図書館運営に生かしていきたい。

三郷館長 三郷図書館は高校生の利用が増えてきた。高校生から20代前半を対象とした雑誌の導入やDVD上映会、地域学習室の改修などをし、他の施設や地域と連携した活動の実施を図っている。

堀金館長 堀金図書館は児童書が充実している。また、本の収集を特色とすることを目標としており、スペースを工夫しながら進めている。

明科館長 2か月間休館して建物もリフレッシュした。学校訪問をした際に子ども向けの展示の話をし、これも情報共有の活動のひとつだと感じた。本の横に魅力的な背表紙を作って展示することで、多くの本を手にとってもらう機会を作ることを考えている。

議 長 以上で協議を閉じさせていただく。

以上